

3月定例会の日程

《2月》	
23日	本会議〔会期の決定、綱 諸般の報告、予算大綱 説明、議案説明など〕 予算審査特別委員会 文教委員会
《3月》	
2日	本会議〔一般質問〕
3日	本会議〔一般質問〕
4日	総務委員会
7日	経済委員会
9日	文教委員会
10日	予算審査特別委員会
11日	予算審査特別委員会
14日	予算審査特別委員会
15日	予算審査特別委員会
17日	本会議〔委員長報告、 質疑、討論、採決など〕

問 23年度から3年間、名鉄西尾・蒲郡線の存続に向けた支援に対する市の考えはどうか。

答 支援負担金については、

げの向上を目指すため、老朽化した競艇施設の改修に、23年度は13億9千万円が計上されました。この施設改修は、26年度までの4カ年で総事業費90億9100万円を予定しています。

そのほか、名鉄西尾・蒲郡線支援負担金をはじめ、観光交流センター等建設事業、子どもの夢を育む学校づくり事業などが予算化されました。

問 23年度から3年間、名鉄西尾・蒲郡線の存続に向けた支援に対する市の考えはどうか。

答 支援負担金については、

赤字補てんに充てる考え方はではない。鉄道を道路と同じ社会基盤として捉え、鉄道施設の維持にかかる費用のうち、線路・電路の材料費や構築物の減価償却費などの費用に対して3年間支援をしていく。

●民生費

地域密着型サービス拠点

問 在宅の施設入所待機者が208名いるということだが、介護の方式を変えて365日24時間サービスができる小規模多機能型の居宅事業を推進したほうが効果的だと思う。市の考えは。

答 デイサービスを中心に訪問介護、短期入所が同じスタッフで、環境を変えずにケアができる。特に認知

症高齢者にとって良い施設と思う。

●衛生費

ソフィア看護専門学校

問 受験者数も以前に比べ少なくなり、また、看護学科を設立する大学も増えてきている。市の財政的な問題等もあるため、これからは存続等も考えていくことが必要ではないか。

答 卒業生の7割以上が蒲郡市民病院へ就職するように努力しており、現在の市民病院の状況を見ると、市立看護専門学校はなくてはならない存在になっている。市民病院がある限り、続けていきたい。

●農林水産業費

有害鳥獣駆除事業

問 有害鳥獣駆除事業費として510万円が計上されている。その内訳は。

答 捕獲されたイノシシの処分費に90万円、わなのえさ代等に20万円を計上した。22年度の予算と大きく変わるところは、鳥獣被害防止対策協議会を設立したことにより国から交付金がもら

捕獲されたイノシシ



えるため、電気柵設置費の市負担分を400万円計上した。

●商工費

蒲郡まつり事業負担金

問 蒲郡まつりで行われる中央通りフェスタに商店街の方の参加が減少しているが、市の認識は。

答 決められた予算の中でどういった協力ができるか実行委員会で検討していきたい。検討段階だが昼間に行っているりやく市を夜にフェスタと合わせて実施することも考えている。

●土木費

名豊道路とオレンジロード

問 名豊道路の蒲郡インタ

ーがオープンしたとき、市内の交通の流れが心配である。オレンジロードは建設費を償還できたら予定を繰り上げてでも無料化にしてもらうと聞いてきたが、オープンに合わせて無料化にすることができなのか。

答 壁や排煙設備等の補修をして県に渡すと聞いている。蒲郡インターのオープン頃には、無料化にしてもらえるという確約をいただいているつもりでいる。

●消防費

家具転倒防止器具の設置

問 22年度の設置件数が急激に増えた原因と23年度の実施予定はどうか。

答 22年度から設置対象年齢を70歳に引き下げたこと、器具の取り付けをシルバール人材センターに委託したこと、民生委員が参加する会合などで説明を行い、委員の協力を得て事業の周知が図られたことが原因と考えられる。また23年度は22年度並みの予算を組んでいる。

●教育費

少人数学級対応事業費